Summer Institute 2000
Session 2: 統一理論を視野に入れた現象論
活動報告

8 月 14 日 (月) 午後 ~ 8 月 21 日 (月) 午前

Summer Institute 2000 (Session 2) は、8 月 14 日午後から 21 日まで開催された。このセッションで扱ったテーマは、統一理論を視野に入れた現象論であり、素粒子の相互作用に関する統一的な理解を目指す様々な現象論的アプローチである。自由な雰囲気のもと活発な議論が行なわれ、この中からいい研究成果が数多く生まれてきつつある。

このセッションでは、多くのアクティブな研究者の参加を促し、国内からはもちろん、比較的多くの外国人研究者の参加も得ることができた。格子理論についての国際会議との日程的重複などもあり、広範なテーマをカバーすることを目指すのではなく、むしろ、超対称性や余剰次元に基づく試みや関連する宇宙論などの話題を重点的に取り上げたのが今回の大きな特徴である。

原則的に午前中に世話人から依頼した講義を、午後は参加者有志によるインフォーマル・セミナーを行ない、残りの時間は個人的な議論を行なった。日程初日に自己紹介を兼ねた全体ミーティングを行い、午後のセミナーについて参加者の希望を聞き、内容などの調整を行った。

このセッションの期間中に行われた講義・インフォーマルセミナーは以下の通りである：

	morning	afternoon	evening
14	—	registration	orientation
15	講義 1		セミナー 1
16	講義 2	講義 2	セミナー 2,3
17	講義 3		懇親会
18	講義 4	セミナー 4	セミナー 5
19	研究交流		セミナー 6
20	講義 5		
21	講義 6	—	—

- [**講義** 1]: Vadim A. Kuzmin (YITP),
  "Ultra High Energy Cosmic Rays
  and SuperHeavy Particles in the Universe"

- [**講義** 2]: André Lukas (Oxford),
  "Brane-world Models from M-Theory"

- [**講義** 3]: Taichiro Kugo (Kyoto),
  "Tensor Calculus of 5D Supergravity"

- [**講義** 4]: Kiwoon Choi (KAIST),
  "R parity violation and neutrino masses"

- [**講義** 5]: Tatsuo Kobayashi (Kyoto),
  "SUSY breaking from somewhere in extra dimension"

- [**講義** 6]: Takeo Moroi (Tohoku),
  "CP violations in B and K systems in SUSY GUT
  with right-handed neutrinos"

- [**セミナー** 1]: Mihoko Nojiri (YITP),
  "LSP Dark Matter and Phenomenology"

- [**セミナー** 2]: Shinta Kasuya (Tokyo), "Q-ball Cosmology"

- [**セミナー** 3]: Kenzo Ogure (Kobe),
  "Fluxes and Masses of Non-topological Solitons"

- [**セミナー** 4]: Kyuwan Hwang (KAIST),
  "R-parity Violation and Neutrino Masses"

- [**セミナー** 5]: Takeshi Chiba (Kyoto),
  "Cosmological Constant and Quintessence"

- [**セミナー** 6]: Tatsuya Noguchi (Kyoto),
  "Fermion Mass Hierarchies and Small Mixing Angles
  from Extra Dimensions"